

第239号

たてばやし 市議会だより

編集：館林市議会編集委員会



新型コロナウイルス
感染症情報はこちら

6月 定例会

館林市税条例の一部を
改正する条例など
22議案が決まりました

主な掲載記事

- 本会議のあらまし…………… 2～3ページ
- 議員個人の賛否結果一覧表…………… 4ページ
- 政務活動費の収支報告…………… 5ページ
- 一般質問 (11人) …………… 6～11ページ
- 永年在職議員表彰…………… 12ページ



館林市議会ホームページ
<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/li/gikai/index.html>

本会議のあらまし

令和8年館林市議会第2回定例会は、6月5日から22日までの18日間の会期で開かれました。

この定例会に市長から提案された議案等は24件で、審議の結果、いずれも原案のとおり同意、承認、可決されました。

人事案件

▽議案第23号～第32号

農業委員会委員の任命についてⅡ現農業委員会委員の任期が本年7月19日をもって満了となるが、引き続き、

野中正一さん(城町)、小島美恵さん(本町四丁目)、瀧野瀬雅彦さん(日向町)の3名を任命したいとして、

また、新たに、山崎芳則さん(当郷町)、須永利洋さん(堀工町)、川島勝さん(上三林町)、大塚利夫さん(大島町)、高際常雄さん(羽附旭町)、曾根一成さん(北成島町)、山口宏二さん(上早川田町)の7名を任命したいとして、

農業委員会等に関する法律の規定により、議会に同意

を求められたもので、任命につき全員一致で同意されました。

条例の改正

▽議案第36号 館林市税条例の一部を改正する条例Ⅱ

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、個人住民税について、公的年金等受給者の扶養親族等申告書の提出義務の範囲の追加、住宅ローン控除の居住要件・適用期限の延長及び特定暗号資産取引に係る課税の見直しに伴う所要の整備等のため、また、固定資産税の免税点について、家屋に係る免税点を20万円から30万円に、償却資産に係る免税点を150万円から180万円にそれぞれ引き上

げるほか、再生可能エネルギー発電設備に係るわがまち特例について、本市の特例率を定める等のため、本条例の一部を改正するもので、全員一致で可決されました。

▽議案第37号 館林市都市計画税条例の一部を改正する条例Ⅱ 地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、わがまち特例において、

バリアフリー改修が行われた劇場、音楽堂等に係る特例の拡充・延長に伴い、本市の特例率を規定するほか、所要の改正を行うため、本条例の一部を改正するもので、全員一致で可決されました。

▽議案第38号 館林市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例Ⅱ 国の医療DX推進に係る取組に基づき、受給資格者の利便性の確保並びに医療機関等及び市の事務負担の軽減を図るに当たり、県外医療機関を受診した際の現物給付化に対応するため、また、マイナンバーカードによる、受給資格

に係るオンライン資格確認の実施に対応するため、本条例の一部を改正するもので、全員一致で可決されました。

その他の議案

▽議案第39号 市道3281号線ほか10路線の路線廃止についてⅡ大島工業団地の造成に伴い、滅失される8路線及び起終点の変更となる3路線を廃止するもので、全員一致で可決されました。

▽議案第40号 市道3367号線、市道3368号線及び市道3369号線の路線認定についてⅡ大島工業団地の造成に伴い、起終点の変更となる3路線を認定するもので、全員一致で可決されました。

▽議案第41号 市道3370号線、市道3371号線及び市道3372号線の路線認定についてⅡ群馬県が施工する都市計画道路東部環状線の整備に伴い、群馬県から移管される3路線を認定するもので、全員一致で可決されました。

▽議案第42号 市道8505号線橋梁下部工事請負契約の締結についてⅡ市道8505線の新設に伴い、橋梁(江川橋)の設置工事を施工するため、国土交通省関東地方整備局と2億7200万8000円で請負契約を締結しようとすることから、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会に対し議決を求められたもので、全員一致で可決されました。

▽議案第43号 財産の取得についてⅡ国のGIGAスクール構想に基づき整備した児童・生徒学習用情報端末が更新時期を迎えたため、次期端末5403台を取得するに当たり、NTT東日本(株)群馬支店と2億9716万5000円で物品購入契約を締結しようとすることから、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会に対し議決を求められたもので、賛成多数で可決されました。

専決処分

▽議案第33号 専決処分の承認を求めることについて
(館林市税条例の一部を改正する条例)

▽議案第34号 専決処分の承認を求めることについて
(館林市都市計画税条例の一部を改正する条例) Ⅱ

以上の2議案については、地方税法等の一部を改正する法律が本年3月31日に公布されたことに伴い、それぞれ、関係する条例の一部を改正する条例を専決処分し、地方自治法の規定により、議会に対し承認を求められたもので、2議案とも全員一致で承認されました。

▽議案第35号 専決処分の承認を求めることについて
(館林市国民健康保険税条例の一部を改正する条例) Ⅱ
地方税法施行令等の一部を改正する政令が本年3月31日に公布されたことに伴い、本条例の一部を改正する条例を専決処分し、地方自治法の規定により、議会に対し承認を求められたも

ので、賛成多数で承認されました。

補正予算

▽議案第44号 令和8年度館林市一般会計補正予算(第1号) Ⅱ
寄附金の受入れに伴う予算化のほか、国産麦の生産性向上を図るための事業費の追加など、早急に予算措置を要するものについて補正するため、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億1116万1000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ340億9116万1000円とするもので、全員一致で可決されました。

報告

▽報告第1号 令和7年度館林市一般会計繰越明許費の繰越報告について Ⅱ
令和7年度館林市一般会計補正予算(第8号)及び(第9号)において、市史編さん事業390万8000円、住民基本台帳事務52万8000円、戸籍事務501万6000円、物価高対応子

育て応援手当支給事業2237万4000円、道路新設改良事業1億1437万9000円、茂林寺前駅西口整備事業5844万2000円、西部第一中土地区画整理事業4950万円、西部第二土地区画整理事業3100万円、都市公園維持管理6891万5000円、公園競技施設管理運営1億4898万6000円、防災関係894万2000円、小学校施設整備事業7887万5000円を繰越明許費として設定し、繰越計算書のとおり令和8年度に繰り越したことにについて、報告されました。

▽報告第2号 令和7年度館林市下水道事業会計予算の繰越報告について Ⅱ
令和7年度館林市下水道事業会計予算の建設改良費において、処理場建設費1億1982万1000円を、繰越計算書のとおり令和8年度に繰り越したことにについて、報告されました。

スマートフォンやタブレットからも視聴できます！



市議会のHP をぜひご覧ください

ホームページ

<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/li/gikai/index.html>



市議会トップページ



←ライブ&録画映像配信はこちら

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/tatebayashi/WebView/rd/council.html>
なお、各議員の質問の様子は6ページからの「二次元コード」を読み取るとご覧になれます。



←会議録の検索はこちら

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/tatebayashi/pg/index.html>
市議会だよりは、紙面の都合で本会議の要旨を掲載しています。詳しくお知りになりたい場合は会議録をご覧ください。※6月定例会の会議録は9月上旬頃掲載予定です。

令和 8 年第 2 回定例会 議員個人の賛否結果一覧表

議案等名		議席番号 議員名																		結果
		1 小林但弥	2 池森のり子	3 飯島一志	4 岡野陽子	5 堀口さく枝	6 岩上博志	7 野本泰生	8 田辺純子	9 柴田信子	10 平井玲子	11 川村幸人	12 渋谷理津子	13 権田昌弘	14 斉藤貢一	15 篠木正明	17 遠藤重吉	18 野村晴三		
議案第23号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	同意	
議案第24号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	同意	
議案第25号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	同意	
議案第26号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	同意	
議案第27号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	同意	
議案第28号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	同意	
議案第29号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	同意	
議案第30号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	同意	
議案第31号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	同意	
議案第32号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	同意	
議案第33号	専決処分の承認を求めることについて (館林市税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	承認	
議案第34号	専決処分の承認を求めることについて (館林市都市計画税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	承認	
議案第35号	専決処分の承認を求めることについて (館林市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—	○	○	●	○	○	承認	
議案第36号	館林市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第37号	館林市都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第38号	館林市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第39号	市道3281号線ほか10路線の路線廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第40号	市道3367号線、市道3368号線及び市道3369号線の路線認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第41号	市道3370号線、市道3371号線及び市道3372号線の路線認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第42号	市道8505号線橋梁下部工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第43号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—	○	○	●	○	○	原案可決	
議案第44号	令和8年度館林市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決	

※渋谷理津子議長は採決に加わりませんので、「-」となっております。

【○：賛成 ●：反対】

常任委員会の審査報告

総務文教

付託された案件は議案2件で、まず、「館林市税条例の一部を改正する条例」については、採決の結果、全員一致をもって可決すべきものと議決されました。次に、「財産の取得について」については、採決の結果、賛成多数をもって可決すべきものと議決されました。また、学校適正配置推進室から館林市立学校適正規模・適正配置基本方針市民説明会の結果及び館林市立学校適正規模・適正配置検討委員会の設置についての報告がありました。

市民福祉

付託された案件は「館林市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例」の議案1件で、採決の結果、全員一致をもって可決すべきものと議決されました。また、こども課から、六

郷保育園、杉並幼稚園及び西幼稚園の3園の統合及び認定こども園化についての報告がありました。

経済建設

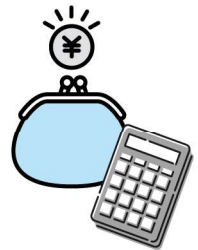
「市道3281号線ほか10路線の路線廃止について」「市道3367号線、市道3368号線及び市道3369号線の路線認定について」「市道3370号線、市道3371号線及び市道3372号線の路線認定について」「市道8505号線橋梁下部工事請負契約の締結について」の議案4件が付託され、現地調査の後に審査を行い、採決の結果、4議案とも全員一致で可決すべきものと議決されました。また、つつじのまち観光課から館林市観光マスコットキャラクターの新名称の公表について、緑のまち推進課から近藤沼公園ジャブジャブ池周辺改修工事についての報告がありました。

“令和7年度 政務活動費の収支報告”をお知らせします

政務活動費は、地方自治法の規定に基づき、政策に関する調査研究、研修、広報等の活動のために市議会の会派へ交付される費用のことです。

館林市議会では、議員1人当たり年額15万円（月額12,500円×12か月）を当該年度分一括して各会派に交付しています。

各会派から提出されました「収支報告書及び会計帳簿」は市議会ホームページで公開しています。



令和7年度（令和7年4月～令和8年3月）交付分を掲載

会派名	所属議員数	交付金額	支出額	残額（返還額）	執行率
緑水クラブ	9人	1,350,000円	807,325円	542,675円	59.80%
公明党	2人	300,000円	178,153円	121,847円	59.38%
日本共産党 館林市議団	2人	300,000円	299,480円	520円	99.83%
一心会	2人	300,000円	29,656円	270,344円	9.89%
フォーラム館林	2人	300,000円	298,821円	1,179円	99.61%
計	17人	2,550,000円	1,613,435円	936,565円	63.27%

一般質問

今定例会における一般質問は、6月11日・12日の2日間
にわたり行われ、11人の議員が市政全般に対する諸問題に
ついて市の所信をいただきました。
内容は広範にわたっておりしますので、その要旨を掲載い
たします。

(本文は質問者本人の責任をもって要約したものです。)



学校教育活動の現状と課題について

岩上 博志 議員



質問 本市が目指す部活動
地域展開とはどのようなも
のなのか、市民に示すこと
ができるグランドデザイン
のようなものがあるのか伺
います。

答弁 将来にわたり、生徒
がスポーツ・文化芸術活動
に継続して親しむことがで
きる機会の確保を目指して

います。7月下旬にはグラ
ンドデザインを示すことを
検討しています。

質問 部活動地域展開にお
ける活動費用や派遣費用の
負担について伺います。

答弁 受益者負担の在り方
をはじめ、国や県の補助金
の活用、クラウドファンデ
ィングやスポンサー制度など、

岩上 博志 議員 (6 ページ)

○学校教育活動の現状と課題について

平井 玲子 議員 (7 ページ)

○持続可能なごみ処理行政と投票環境の向上について

堀口 きく枝 議員 (7 ページ)

○危機管理対策における防災環境の整備について

権田 昌弘 議員 (8 ページ)

○教育の質の充実と高齢者の移動手段、介護支援につ
いて

野本 泰生 議員 (8 ページ)

○ごみの減量化と公共用地の利活用について

篠木 正明 議員 (9 ページ)

○ゴミ袋の有料化について

田辺 純子 議員 (9 ページ)

○学校給食における安全な食材の確保と幼児教育・保
育の負担軽減について

岡野 陽子 議員 (10 ページ)

○市内ごみ山問題その後の対応について

○外国人の埋葬に関する現状について

斉藤 貢一 議員 (10 ページ)

○館林市人口ビジョン・第3期館林市まち・ひと・し
ごと創生総合戦略について

池森 のり子 議員 (11 ページ)

○多様な人材が活躍できる職場環境の充実について

飯島 一志 議員 (11 ページ)

○組織機構について

6月11日

6月12日

様々な可能性について研究
し、持続可能な支援の在り
方を検討していきます。

質問 ぐんま教育ビジョン
実現プロジェクトとは、ど
んな取組なのか伺います。

答弁 弾力的学級編制の選
択を可能にする取組で、学
級1クラスを2名で担当す
ることができ、今年度から
第三小学校の2年生、第五
小学校の1年生、第六小学
校の2年生で導入していま
す。

質問 特別支援教育介助員

の現状はどうなっているの
か伺います。

答弁 本市では、現在小学
校に25名、中学校に6名、
計31名の介助員を配置して
いますが、障がいの程度
や緊急度の高いケースを優
先している状況です。引き
続き、現場のニーズに応じ
た配置に努めていきます。

質問 日本語学級について、
本市独自の支援体制がある
のか伺います。

答弁 市独自の予算で日本
語指導助手を配置すること

により、日本語指導の充実
に取り組んでいます。

質問 日本語学習プレクラ
スに通わせたいにもかかわ
らず、通室を断念している
児童生徒に対する支援はど
のようにしているのか伺い
ます。

答弁 プレクラスで指導に
当たっている指導者が、日
本語指導に課題を抱えてい
る学校を巡回して指導する
など、学校現場の状況に応
じた支援を行うことも考え
ています。

持続可能なごみ処理行政と 投票環境の向上について

平井 玲子 議員



ごみ袋の有料化を含めた持続可能なごみ処理行政

質問 本市では有料指定ごみ袋制度の導入が検討されていますが、現行体制を維持した場合の課題を伺います。

答弁 現在、収集従事者の平均年齢が60歳を超えています。特に排出されたごみが分別区分ごとに整頓されてい

ない場合、収集従事者がその場で仕分けをするなどの労力を要し、コンテナ配付といった作業も伴います。今後ともごみ収集の安定と継続を維持するためには、その在り方を見直していかなくてはならないとの認識を持っています。

質問 市民に負担をお願い

危機管理対策における防災環境の整備について

堀口 きく枝 議員



質問 群馬県地震被害想定調査について、12年ぶりに見直し調査が行われました。公表された結果を受けての本市の認識を伺います。

答弁 本市に最も大きな影響が想定されるのは、深谷断層帯・綾瀬川断層で地震が発生した場合であり、最大で震度6弱の揺れを観測

するものと予想されています。この地震の最大避難者数は、地震発生の日後で2940人、1週間後には3081人、1か月後には2940人との予想結果が示されました。この調査結果を踏まえ、防災施策の見直し、再検討の必要があると認識しています。

する制度である以上、持続可能性だけでなく、支援が必要な方々への配慮も欠かせません。高齢者や障がい者世帯への戸別収集、また子育て世帯や生活保護世帯などへの社会的配慮等について伺います。

答弁 手数料収入を市民へどのように還元したらよいか検討が必要で、丁寧に進めていきたいと考えます。

投票環境の向上

質問 システムの標準化に伴い、投票入場券等の文字

質問 耳で聞くハザードマップが注目を集め、全国の自治体で導入が始まっています。視覚障がい者や高齢者だけでなく、夜間や悪天候時の避難においても、耳から安全に情報を得て行動できる強力な防災ツールです。ユニボイスなど既存のアプリを導入すれば低コストで済むようで、また、外国の方専用の多言語版閲覧機能もあります。本市として耳で聞くハザードマップについての見解を伺います。

が小さく読みにくいという声があります。次回選挙に向けて、本市独自に文字サイズやレイアウトを工夫することが可能か伺います。

答弁 さきの衆院選では、新システム移行直後かつ急な解散により、本市独自の調整に至りませんでした。9月執行予定の市議選に向け、国の仕様を満たしつつ、文字サイズの拡大や配置調整などのレイアウト修正に取り組んでいきます。

質問 タッチパネルを使っ

答弁 防災情報を音声で聞くことができることから、災害弱者の方々の特性に応じた有効な情報伝達手段の一つであると認識しています。

要望 情報格差解消に向け、耳で聞くハザードマップアプリの導入を要望します。

質問 携帯電話基地局が被災した場合でも、多くの通話やインターネットなどの通信が可能で、スターリンク導入の考えを伺います。

答弁 スターリンクとは、低高度軌道の衛星を活用し

て候補者を選択して投票を行う、電子投票についての認識を伺います。

答弁 利便性の向上や選挙管理全体の効率化が期待される一方、他自治体において機械の不具合やシステムトラブルなどが発生し、訴訟に発展した事例もあります。導入については、技術的、財政的な課題、国の動向など総合的に勘案し、見極めていく必要があると考えます。



た、ブロードバンドインターネットであり、多数の人工衛星と地上アンテナをつなぎ、高速、低遅延のインターネット接続を提供する衛星通信サービスです。今後も耐災害性を最優先に、情報収集や先進事例の調査研究を進めていきます。

要望 太田市が今年の2月に導入し、その後、前橋市も導入しました。本市でも、避難所における通信環境の安定のため、スターリンク等の導入を要望します。



教育の質の充実と高齢者の 移動手段、介護支援について

権田 昌弘 議員



質問 多くの外国語に触れていた
ただく取組や教育を進めていく考えは。

める考えがあるか。

答弁 多様な言語や文化に触れる学習は、意義のある取組であると考えており、共に学び合う教育活動を支援していきます。

質問 金融に関する学びを銀行などと協力しながら進

答弁 銀行や民間企業による出前授業や教材提供は大変有意義で、子どもたちが将来、経済的な不安やトラブルを回避し、自分らしい豊かな人生を歩むことができるよう、充実した金融教育を行いたいと考えます。

質問 アンガーマネジメン

ト教育を広げる考えは。

答弁 問題行動や不登校などの課題の未然防止に向け、児童生徒の実態や発達段階に応じて、アンガーマネジメントを含めた人間関係形成能力の育成に努めます。

質問 科学、技術、工学、芸術、数学などを統合して学ぶSTEAM教育を進める考えがあるか。

答弁 文部科学省は、STEAM教育など各教科等横断的な学習の推進を示しています。本市の特色として、

「里沼」を題材にした探究的な学びを行っており、今後、STEAM教育の視点を大切にしながら、子どもたちが実社会の課題に主体的、創造的に向き合う力を育んでいきます。

質問 安全対策のために免許返納をお願いし、返納したら移動ができなくなる。しっかりと対応を考えなければならぬと思うが、デマンドタクシー、ライドシェアの検討は。

答弁 AI等の技術の進歩

を含め、引き続き研究し、誰もが移動しやすい活力ある館林都市圏の実現に向け、取り組んでいきます。

質問 介護に関して、忘れてはいけませんが、介護を支えるご家族への支援だと思いが、その理解、考えはどう感じているか。

答弁 ケアマネジャーを対象とした研修会や情報共有の機会の充実を図り、介護されるご家族の皆様が安心して相談できる環境づくりに努めます。



ごみの減量化と公共用地の活用について

野本 泰生 議員



質問 ごみを減らすため、3R（リデュース、リユース、リサイクル）推進のための具体的な施策は。

答弁 市民に対し、生ごみ処理等に係る補助、ごみゼロ館リユースイベント開催のほか、たてばやしクリーンセンターの内部見学会、子ども向けの出前講座な

ど、ごみの減量化に向けた啓発事業を行っています。

質問 さらなるごみの減量化に向け、有料指定ごみ袋の導入を計画しているようだが、その理由は。

答弁 金銭的な負担を意識する心理的動機づけという経済的インセンティブを活用して、ごみ排出の抑制と

分別の徹底を図りたいと考えています。導入済み自治体を分析した結果によると、約1割の生活系ごみの減量につながり、リサイクル率も向上しています。

質問 有料となった場合、標準的な家庭における1年間の負担見込額は。

答弁 参考値ですが、近隣自治体の例で試算すると年間1980円から3300円となります。

要望 有料化を導入する場合、低所得世帯や子育て

世帯などへの社会的配慮を行うとともに有料化に伴う収入を市民へ還元していたべくよう強く要望する。

質問 公共施設再編検討プロジェクトチームを立ち上げ、市民の利便性向上とまちなかのにぎわい創出に寄与するために検討したとのことだが、その内容は。

答弁 既存公共施設の実態を調査、把握し、施設の複合化を検討しました。その対象施設は、1つ目が市民センター。2つ目が図書館

と子育て支援施設。3つ目が商工会議所、産業振興センター、児童センターで、これらの複合化により機能集約を図り、効率的な運営を実現しなければならぬと考えています。なお、国、県の施設についても、それぞれ意見交換をしています。

質問 公共用地の利活用の考え方や今後の進め方は。

答弁 統廃合など再編を計画的に行い、官民連携も進めながら、実現に向けて全力で取り組んでいきます。

ゴミ袋の有料化について

篠木 正明 議員



質問 ゴミ袋の有料化により、当初はゴミが減りますが、その後、リバウンドが起きます。本当にゴミ袋の有料化でゴミは減ると考えていますか。

答弁 袋代を節約するために、「生ゴミの水切りを徹底しよう」「食べ残しをなくそう」という意識が高まるこ

とが期待できます。大多数の自治体ではリバウンドがあります。リバウンドしない自治体もあります。

質問 可燃ゴミだけでなく、ビン・カン・ペットボトルの計4種類の有料指定ゴミ袋を導入する計画になっています。資源ゴミを捨てるためのゴミ袋が新たなゴミ

になり、ゴミが増えるのではないですか。

答弁 資源ゴミの袋分のゴミが増えてしまいましたが、有料化によって、ゴミが10%削減できれば、市全体で2475トン減ります。

質問 「ゴミが10%減った」の話しでしょう。資源ゴミにゴミ袋が必要になれば、その分のゴミが増えるのは確かではないですか。

次にリサイクル率が向上するのか、お尋ねします。可燃ゴミだけの有料化な

ら、費用負担を抑えるため分別を徹底しようという意識が働きますが、ビン・カン・ペットボトルも有料化すれば、そのような意識は働かないではないですか。これでリサイクル率は向上するのですか。

答弁 審議会の答申では、資源ゴミについては、可燃ゴミ用袋との価格差をつけることや、拠点回収も検討しなさいとされています。

質問 価格差をつけるのは、現実には難しいと思いま

す。また、4種類のゴミ袋を用意するのは煩わしいと分別がおろそかになる懸念もあります。ゴミ袋有料化による効果は期待できないと思いますが、市長は、ゴミ袋有料化を見直す考えはないのですか。

答弁 循環型社会の実現に向けた有効な手段が、有料指定ゴミ袋の導入です。審議会の答申を踏まえつつ、多くのみなさんの声を聞きながら進めていきたいと考えています。

学校給食における安全な食材の確保と 幼児教育・保育の負担軽減について

田辺 純子 議員



質問 学校給食における安全な食材の確保のため、国産小麦を使った製品への切替えや米飯を増やす考えは。

答弁 米飯給食は週4回程度提供しています。また、輸入小麦製品は、輸入の段階で厳格な基準を満たしているとしており、引き続き安全かつ栄養バランス

の取れた学校給食の提供に努めていきます。

要望 海外では、収穫前に除草剤を散布するプレハーベスト処理が認められており、輸入小麦使用製品からは、除草剤のグリホサートが検出される頻度が高い。一方で国産小麦を使用する製品からは検出されないた

め、輸入小麦の使用を避ける取組を進めてほしい。

質問 県内20の自治体で幼児教育・保育の副食費無償化が進んでいるが、本市で無償化されない理由は。

答弁 副食費無償化には、年間約4402万円の財政負担が見込まれ、限られた財源の中での優先順位等を考慮すると、直ちに無償化をすることは厳しいものとして認識しています。

質問 他自治体は、国の制度による小中学校給食の無

償化で発生した財源を活用し、副食費の無償化を進めている。子育て支援の格差を解消するための取組は。

答弁 重要な課題であると認識し、他の子育て支援策とのバランスを考慮して総合的に判断していきます。

質問 近隣1市5町の中で、千代田町、明和町、邑楽町は無償化されている。館林市だけ取り残されないよう、最優先課題として取り組んでいただきたい。保育料の無償化も進んでいるが、ま

ずは第2子の保育料を無償化する考えは。

答弁 第2子無償化の動きが加速していることは重く受け止めています。本市では、まず低所得者世帯や多子世帯に対する現行の保育料軽減制度を確実に実施し、その上で、新たな支援策の在り方を検討します。

要望 近隣自治体の状況を重く受け止め、子育て支援策に一番に取り組む館林市を目指し、関係機関が協力して取り組んでほしい。



市内ごみ山問題その後の対応について 外国人の埋葬に関する現状について

岡野 陽子 議員



質問 市内の住宅地や介護老人保健施設周辺に、長期にわたり産廃が山積みの「ごみ山」について、撤去の見通しを伺います。

答弁 令和8年4月23日付で「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、搬入した廃棄物の全量撤去及び適正処理を求める措置

命令を発出しました。関連部署との連携を適宜拡大し、全庁的体制を構築しながら、毅然と対処していきます。

質問 市長の目指す、快適で活力ある館林市の未来をつくるために、今回の「ごみ山問題」を市長はどのように捉え、解決していくのか伺います。



館林市人口ビジョン・第3期館林市 まち・ひと・しごと創生総合戦略について

斉藤 貢一 議員



質問 本市の合計特殊出生率が低下を続け、0・95まで落ち込んでいるなか、第3期館林市まち・ひと・しごと創生総合戦略における目標値を1・42に設定した根拠を伺います。

答弁 直近10年間で最も高い数値であり、目指すべき現実的な目標値として定め

ました。

質問 合計特殊出生率は数値の確定が遅いため、総合戦略策定委員会や検証委員会での検討に際しては、出生率や出産数の直近の数値を用いるべきだと考えますが。

答弁 合計特殊出生率は、国の地方創生や少子化対策において政策効果を図る指標

答弁 ごみ山問題は、市民の生活環境と公衆衛生を著しく脅かすものであり、断じて容認できません。館林市の環境を守り抜くため、いかなる妥協も許さず、毅然として職責を全うしていきます。

質問 本市ではロヒンギヤというミャンマーのイスラム教徒など外国にルーツを持つ方が増えています。イスラム教徒が亡くなった場合、宗教上の理由から土葬が原則です。イスラム教徒

とされており、国の示す目標値と本市の政策効果を比較検証できるため設定しています。

質問 人口の自然増減は700人前後の減少が続いています。一方で社会増減は増加傾向にありますが、その内訳は、外国人住民登録が増加し、実質の日本人の社会増減が減少しているものです。この現状をどう考えているのか伺います。

答弁 本市の外国人住民の割合は全体人口の6・25%

の埋葬の現状を伺います。

答弁 過去5年間の土葬許可の件数が3件で、具体的には、令和6年度に2件、令和7年度に1件です。

質問 本市において土葬を希望した場合の対応は。

答弁 現在、本市には土葬できる墓地、霊園等はありません。許可されている市外の墓地等に、受入れについて確認していただきます。

質問 土葬について、多文化共生の観点から、どのように対応するか伺います。

を占め、今後も増加すると想定されます。外国人住民と地域住民が安心して暮らせる社会の実現のため、多文化共生の地域づくりを推進します。

質問 「より良い教育環境の整備」の指標で、全国学力・学習状況調査、教員のICT活用指導力などが設定されていますが、学校適正規模・適正配置を進めるなか、どれだけ地域に溶け込み、地域活力に貢献できるかなど、子どもたちにとって魅

答弁 外国人住民や関係団体から情報を収集するなど、調査研究を進めます。

質問 土葬墓地造成を目的とした、外国人による土地取得についての考えは。

答弁 「墓地、埋葬等に関する法律」及び本市関係条例に基づき、公衆衛生の確保と周辺生活環境への影響を最優先に考慮し、厳格に審査、判断します。

要望 土葬の規制等、後世の人に争い事の火種を残さない対策をお願いします。

力となる指標を設定するべきだと考えますが。

答弁 総合計画との連動性などの観点から指標を設定していますが、今後は、より良い学校教育環境の実現につながる指標を検討します。

質問 総合戦略と学校適正規模・適正配置基本方針で示した児童生徒数の推計値の間に、極端な数字の乖離がある理由を伺います。

答弁 目的の違いと、学校再編を検討するための実態に即した数値を重視しました。

多様な人材が活躍できる 職場環境の充実について

池森 のり子 議員



質問 この5年間の職員定数と実員数の推移及び人材確保に向けた取組について伺います。

答弁 職員数は定数を下回る状況が続いていますが、職員定数の充足に向け、採用試験方法の変更や受験要件の緩和を進めています。

質問 民間企業では、退職

者を再び雇用する「アルムナイ採用」を導入している企業があり、また、キャリアリターン制度を採用している自治体がありますが、本市の制度を伺います。

答弁 本市では令和7年度から、退職した職員を再び正規職員として採用する、キャリアリターン制度を受

組織機構について

飯島 一志 議員



質問 財産有効活用課についての質問です。公共施設マネジメントの具体策について伺います。

答弁 公共施設等マネジメント推進庁内委員会における総合評価結果を受け、個別施設計画と実行計画との整合や確認を行いながら、PDCAサイクルを活用した進

捗管理を行っています。

質問 複合施設の可能性と形態について伺います。

答弁 市民センター周辺に点在する公共施設を一つにまとめ、さらに市の機能を追加することで、利用者の利便性向上とまちなかの活性化に寄与する取組として検討していきたいと考えて

け、これまでに3人を採用しています。

質問 本市に雇用されている障がい者の割合はどの程度か。また、障がい者採用は通常採用とどのような違いがあるのか伺います。

答弁 本市では、現在20人の障がい者を雇用しており、障がい者雇用率は法定雇用率を上回る2.9%です。採用に当たっては、受験申込みの段階から相談を受け、試験会場の設定や面接試験において必要な配慮

います。

質問 次に、地域魅力創造課についての質問です。地域の魅力をどのようにふるさと納税につなげるのか伺います。

答弁 話題性のある返礼品の開拓にとどまらず、リピーターを増加させるための仕組みづくりを推進し、寄附をされた方が本市のまちづくりに参加しているという実感を持ち、継続的な応援につなげられるよう取り組んでいきます。

を行いながら、よりきめ細かな対応をしています。

意見 障がいのある方の能力開発やキャリア形成に取り組みながら、職員がより成長し、活躍できる職場づくりを進めてください。

質問 採用試験合格後の内定辞退を防ぎ、本市が選ばれる市役所になるための取組を伺います。

答弁 内定辞退を減らす取組として、採用説明会や内定者向け事前研修会、個別面談に加え、庁舎・議場・

質問 移住定住を地域経済の活性化につなげる取組について伺います。

答弁 移住された方が地域の担い手として経済活動に加わり、既存の地域資源と結びつくことで、地域全体の経済循環を高めることができる仕組みづくりについても取り組んでいきたいと考えています。

質問 本市の将来像について伺います。

答弁 市民の皆さんが、日々の生活の中で、地域の

周辺施設の見学を取り入れ、入庁後のイメージ形成を図っています。引き続き、受験者に選ばれる取組を進めていきます。

意見 市民サービスを支えるのは「人」です。本市が選ばれる自治体であり続けるため、多様な人材が能力を発揮できる職場環境づくりと、障がいのある方を含め、誰もが活躍できる組織づくりを期待します。



魅力や価値を再確認していただきながら、それを自ら語り、市外の方へ伝えていくような、市民が主役になってくれるまちづくりを推進していきたいと思っています。今後、館林市シティプロモーション推進方針に基づきながら、館林市ならではの魅力の深化と発信、館林市の確かな価値を大切にしながら、総合計画にも掲げる将来都市像の実現に向けて取り組んでいきたいと思っています。



全国市議会議長会から 表彰を受けました

斉藤貢一議員

斉藤貢一議員は、市議会議員として15年間の多年にわたり、地方自治の伸長発展と市政の向上振興に貢献された功績により、このたび、全国市議会議長会から表彰を受けました。

これに伴い、6月5日、定例会初日、本会議前の議場において、その伝達式を行いました。

議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か

本会議・常任委員会・特別委員会はだれでも傍聴することができます。議会では皆さんの生活に直結した重要な問題が審議されます。市政を身近に知るためにも、ぜひ議会を傍聴してください。

※傍聴される際は、携帯電話・スマートフォンの電源をお切りいただくかマナーモードに設定していただくよう、ご協力をお願いします。

【9月定例会の予定】

- 8月26日(水) 本会議＝会期の決定、議案提案説明など
- 28日(金) 本会議＝議案に対する質疑、委員会付託など
- 31日(月) 本会議＝一般質問
- 9月1日(火) 本会議＝一般質問
- 2日(水) 委員会＝常任委員会（総務文教・市民福祉・経済建設）
- 3日(木)・4日(金)・7日(月) 委員会＝決算特別委員会
- 11日(金) 本会議＝表決

☆本会議は午前10時開会予定です。会議の日程、時間等に変更になることがあります。

☆一般質問の通告順位表は、8月24日（月）から市のホームページでご覧いただける予定です。

暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法により、議員が選挙区内にある者に対し、暑中見舞い状等の時候の挨拶状を出すことや新盆等に線香などのお供え物をすることは禁止されています。

今後とも、一層倫理の確立に努めてまいりますので、市民の皆様のご理解の程よろしくお願い申し上げます。